

今週のメニュー

■トピックス

◇親子夏休みイベント“プラスチックで消しゴム作り”に参加

■随想

◇マラウイ共和国旅行記（10）－マラウイ共和国あれこれ（その1）－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■トピックス

◇親子夏休みイベント“プラスチックで消しゴム作り”に参加

小中学校の子どもたちに普段できない体験をしてもらおうと、夏休み期間中を利用して各地の博物館や科学館などいろいろなイベントを開催しています。以前、沖縄の小学校で塩ビ工業・環境協会（VEC）が行った出前授業が縁となって、沖縄こどもの国から“夏休み科学体験プログラム”への講師派遣の要請がありました。

沖縄こどもの国は、遊園地というより子どもたちを活気づけ、夢を与えることのできる施設作りを目指している、沖縄唯一の動物園を備えた施設です。また、沖縄県は、科学教育に熱心に取り組んでおり、今回のプログラムは沖縄市教育委員会の平成27年度子ども科学力育成事業の一環として行われたものです。

沖縄こどもの国夏休み科学体験プログラムは、7/25～8/29の土・日を中心に12のプログラムが組まれました。VECが担当したのは、8/22開催の“プラスチックで消しゴム作り”というプログラムです。“プラスチックってなあに？”、“プラスチックを知ろう”との副題を付け、それぞれ小学校1年から3年生および小学校4年生から中学校3年生までを対象としたプログラムの講師を勤めさせていただきました。



案内チラシ

プログラムのメインは、市販の消しゴム作りキットを使った塩ビ製消しゴム作りですが、保護者の方も多く参加されていたことから、イントロとしてプラスチックの原料の話や塩ビなどのプラスチックの種類や特徴などについても少し説明させていただきました。今回会場となった沖縄こどもの国のある沖縄市の隣のうるま市には、2つの石油備蓄会社があることから、前日、近くまで行って写真に収め、プラスチックの原料となる石油が備蓄されていることについても説明しました。



沖縄の石油基地

ペースト塩ビを使った消しゴム作りですが、イチゴなどで飾ったパフェ風のものや握りずしの形のものなど、パーツを組み合わせる作品は、最初の工程の練りの作業の仕方によってはパーツ同士がうまく接着されず、最終工程の熱湯での加熱時に、はがれたり、ひび割れしたりしていました。このキットで作った消しゴムは非常に良く字が消えるのですが、自分で作った消しゴムで字消しの具合を確かめるのがもったいないと大事に持ち帰っていました。参加のみなさんには、ワイワイガヤガヤと創意工夫をこらしたあつという間の90分だったようです。



消しゴム作りの様子

■ 随想

◇マラウイ共和国旅行記（10）－マラウイ共和国あれこれ（その1）－
一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

両替

昨年訪問したモザンビーク共和国もコインが不足していましたが、マラウイ共和国も同じ。滞在中、コインを手にしたのは1度だけでした。では、お釣りとしてコインが必要になった時はどうするでしょう？ あっさりと販売価格を紙幣だけで支払える金額に端数切り捨てです。

スーパーなどは日本と同様、バーコードで商品情報を読み取り、レシートにも正しい金額が記載されていますが、支払うのはコイン相当金額を切り捨てた金額。売上管理はどうなっているのでしょうか？

ミニバス車内でのお釣り

ミニバスも料金は紙幣で支払うことができる、切りのいい金額です。そうはいつでも料金が非常に安いミニバス。支払う小額紙幣を必ず持ち合わせているとは限りません。そのような時は車掌さんが大きな声で「〇〇クワチャ両替できる人」と大きな声で叫びます。15人もお客さんが乗っていると、不思議と両替ができるものです。

棺桶

今回も街を歩いていたら棺桶屋さんを見つけてしまいました。掘立小屋のような小さな棺桶屋さんだったので、4種類の棺桶しかありませんでしたが、Executive、Premiere、Normal、Cost Save（お店の人の言葉）に分かれていました。

日本とは異なり、欧米と同じ土葬なので、どれもかなりしっかりした作り。Executiveなどはあまりにも立派で、土に埋めるのがもったいないくらいの出来でした。

エボラウイルス対策

マラウイ・チレカ国際空港、国際空港と言っても滑走路は1本しかないし、ターミナルビルは間違ってジェットエンジンの排気が建物に当たると吹き飛ぶのではないだろうかという建物。もちろん、飛行機の乗り降りに使うボーディングブリッジなどはありません。

時節柄、ターミナルビルに入る手前で、サーモセンサーによる検温が行われました。ちょっとでも体温が高い人はターミナルビルにすぐには入れず、きちんとした体温計を使っての検温、これまでどの地域に滞在していたかのインタビューが行われていました。

資金不足の病院

ブランタイアでは一番設備が整い、一番大きな病院を訪れた時のことです。きれいに整備された病院の脇に、廃墟のような、半分崩れかけた建物がありました。てっきり、今は使われなくなった古い病棟だと思ったのですが、職員の人に聞くと新しい病棟建設を始めたのはいいが、途中で資金不足になり工事がストップ。もう10年近くそのまま、建設再開の見込みは全くないとのこと。

異常なまでの病床不足、当分解消はされそうありません。



外来受付時間

小さなクリニックは別として、ブランタイアで見た、所謂、総合病院の外来受付時間、なぜか午前6時30分～午前7時30分、午後1時～午後2時、午後4時～午後5時30分というところが多かったです。病院の診療案内の看板には、円滑な診療のため、必ずこの時間を守ってくださいと書かれていました。

この時間帯だけで患者さんを捌けるのでしょうか？ 確認をしましたが、ヨーロッパに多いホームドクター制をとっており、日本のように気軽に総合病院へは行けないのかもしれないね。

白バイ

日本車が多い中、バイクは圧倒的に中国製。白バイは中国の警察から寄贈された中古車のようで、フロントにも脇にも、大きく「警察」の文字が。日本人の私から見ると、何となく安心できました (^o^)

なぜか、どの白バイも警察官は2人乗り。一人では対応できない規模の事件や事故が多いのでしょうか？

(つづく)

次回は、(11) -マラウイ共和国あれこれ(その2)-です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

先月、博多へ行く用事があり、その折に屋台で博多ラーメンを食べました。博多の屋台でラーメンを食べるのは大学時代以来ですから、40年ぶりくらいになります。昔は豚骨スープの臭いが強烈でしたが、今はほとんど気にならない程度になっているのが印象的でした。

以前に比べ臭いに敏感な社会になってきているため、その影響を受けているのかも知れませんが、臭いが薄くなっている分食べやすくおいしかったのですが、逆にかつてのあの臭いがなつかしく思われるのでした。(ヨッシー)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp